

離任の御挨拶

三宅高校の生徒、保護者の皆さま、そして島民の皆さまへ。

2年間という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。

校長として初めて勤務した学校が三宅高校であったことは、私にとって大変貴重な経験となりました。在職中、特に重点的に取り組んだことは、生徒一人一人に多くの経験や体験、そして挑戦の機会をもってほしいということでした。

東京都教育委員会の事業を活用し、令和6年度にはトルコ共和国、令和7年度にはアラブ首長国連邦への海外派遣研修を実施しました。また、農業科の生徒による農業クラブ全国大会（岩手大会・西関東大会）への出場、家政科生徒の校外学習、農業科・家政科による生産品販売の取組（収穫祭・港での販売）などを通して、地域理解と地域への貢献を図ってまいりました。

この2年間、皆さまの御支援と御協力を賜り、学校経営を円滑に進めることができましたことに、心より感謝申し上げます。

令和8年度、三宅高校は創立78周年を迎えます。島民の皆さまの願いによって設立された本校が、これからも三宅島とともに歩み、さらなる活性化を遂げていくことを心より願い、離任の御挨拶とさせていただきます。

令和8年3月31日 校長 大坂 操

